

# 新聞を使った教育活動 (NIE)

日本語・歴史担当 佐々木香代子

# 今日の流れ

- \* NIEとは何か
- \* NIEを通して身につく能力
- \* YICSにとってのNIEの必要性は？
- \* 学校でNIEをする際の注意点（著作権）
- \* 実際に、NIE活動をやってみよう！
- \* 参考にしたサイトの紹介



# What's NIE?

- \* アメリカで1930年代からスタート
- \* Newspaper In Classroom (NIC)  
→Newspaper In Education (NIE)
- \* 若者の活字離れ、読書嫌いに歯止めをかけ、活字文化に親しむ方法の1つとして用いられる



# NIE in Japan

- \* 新聞を丸ごと使う
- \* 複数の新聞を活用する
- \* 学校と新聞社の共同作業
- \* 新聞社各社や海外団体のNIE情報 ↓
  - \* <http://nie.jp/link>

# 学校での導入例

- \* 朝のN I Eタイム（週2回程度、20分くらい）
- \* 授業の中で、必要に応じて使用する



# 新聞社が行う先生向け講座（例）

- \* 先生のためのSDGs勉強会（朝日新聞）
- \* NIE土曜サロン（読売新聞）
- \* 新聞活用実践教室アクティブNIE（毎日新聞）

など、多数実施



# N I E で身につく能力①

- ①活字離れの防止、言語文化に対する関心を高め、読解力・表現力の向上と、豊かな情操を育てる。
- ②社会に目を向けさせ、多角的な見方と思考力、判断力、表現力を育成。
- ③人の話をきちんと聞くことができ、コミュニケーション能力が養われる。
- ④情報の選択・活用能力（情報リテラシー）を育てる。
- ⑤教育の活性化、児童・生徒の主体的な学習が可能になる。
- ⑥保護者参加の新しい教育形態の可能性
- ⑦家庭・地域と共に子供を育てる、開かれた学校への可能性
- ⑧新聞の特性から社会教育・生涯教育にも活用できる。

（立命館大学大学院2001年卒業生修士論文より）



# NIEで身につく能力②

①興味・関心

②問題発見力

③読解力

④情報活用力

⑤探求力

⑥情報を批判的に見る力

⑦社会への提案力

(平成24年度 第17回NIE大会)



# N I Eで身につく能力③

①読む力・書く力

②情報を読み解き、課題を見つけ、

論理的に考える力

③発信力やコミュニケーション能力を

高められる

(毎日新聞社HPより)



# YICSにとってのNIEの必要性は？

- \* まずは、NIEの実施例や指導資料を参考に  
にして、各自考えてみてください。（10  
分程度）
- \* どんな能力が身につけられるか、どん  
な科目間連携ができるか……
- \* それから、全体でシェアします。



# NIEの実施例など

資料：

よみうり新聞たんけん隊

NIEガイドブック 道徳に新聞活用

参考サイト：

新聞を活用した教育実践データベース <https://nie.jp/report/>

よみうり新聞たんけん隊

NIEガイドブック 道徳に新聞活用

読売中高生新聞 <https://www.yomiuri.co.jp/teen/>

高校生新聞ONLINE <http://www.koukouseishinbun.jp>

学習指導要領とNIE <https://nie.jp/study/>

[https://nie.jp/study/pdf/youryou\\_nie.pdf](https://nie.jp/study/pdf/youryou_nie.pdf)

そのほか、いいサイト・資料があれば教えてください（朝日新聞の資料は請求中）。



# 佐々木の考えるNIEの意義①

## ① 生徒の基礎学力の確保のために一言語の壁を乗り越える

PISA型読解力の向上が期待できる

[https://nie.jp/teacher/advisor/report/2014/09/13\\_004363.html](https://nie.jp/teacher/advisor/report/2014/09/13_004363.html)

→ 「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参画するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組む能力」と定義づけられている能力

## ② 生徒に「出会い」の場を提供する

→ 新聞を通して、さまざまなさまざまな立場・職業・地域の人と交流できる



# 佐々木の考えるNIEの意義②

③主体的な学習や、AO入試に結びつけられる

→中高生向けの各種コンテスト情報が掲載

④カラーバス効果 ([https://nie.jp/teacher/advisor/report/2018/03/30\\_012089.html](https://nie.jp/teacher/advisor/report/2018/03/30_012089.html))

頭の中に意識していることがあると、自然と関連することに目が行くようになる効果

→授業の導入や応用学習に使える

※韓国語新聞や中国語新聞を使った語学教育にも応用できる！

※授業で使ったNIE作品がいろんなところに掲示されていることで、自然と勉強になっているような空気が作れたらよいのではないか



# 学校NIEの注意点

- \* 著作権について <https://nie.jp/teacher/copyright/>
- \* 研修会や会議、教科研究会等でのコピーはNG  
(あくまで授業用！)
- \* 授業で使用する場合、格安購入が可能 (10部以上、一部40円程度)
- \* そのほか、有料データベースもある



# 先生から、NIEに親しもう！

\* 生徒に紹介したい記事を選んで、コメントを書いてみましょう！

\* 先生がNIEに親しむことの効果

\* [https://nie.jp/teacher/advisor/report/2016/10/21\\_010430.html](https://nie.jp/teacher/advisor/report/2016/10/21_010430.html)

\* 本当に授業に使うものを作成してみたい先生には、授業で使う場合のみ閲覧できるサイトを紹介します



# 参考資料、参考サイト

- Wikipedia 「NIE」の項目 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/NIE>)
- 弘前大学 教育学部 附属教育実践総合センター 平成15年度教育実践研究(院)第4班  
NIEの可能性 ～青森県におけるNIEの実践から～ (パワーポイント)  
(<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/jissen/2003/group4/presen4.pdf>)
- 立命館大学2001年修士論文 (和田澄恵)  
新聞の将来とNIE—学校・家庭・地域・新聞を開くNIE—  
(<http://www.ritsumei.ac.jp/~syt01970/page161.html>)
- 教育に新聞をレポートNIEの現場から (<https://nie.jp>)  
→バックナンバーを含めたレポートがとても参考になります
- 国立教育政策研究所 国際研究・協力部 (OECD生徒の学力到達度調査)  
(<http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>)
- 有料データベース 朝日けんさく (<http://www.asahi.com/information/db/kensaku.html>)
- 朝日Teachers'メール (<http://www.asahi.com/shimbun/TM/>)

※いずれも7月24日～26日の間にアクセス